



# 朝風

平成 29 年度  
学校報 1 月号②  
大仙市立  
大曲南中学校

## おじゃまして。授業拝見！

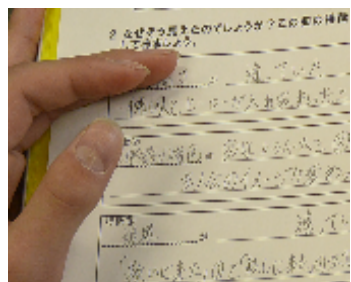
音楽科・佐藤美紀先生



1 年生は、音楽を特徴付けている要素を聴き取り、音楽の醸し出すイメージが、要素でどう変わってくるのかを考える授業をしていました。タイトルは、「このイメージ、なぜわいてくるの？」です。郡や市の教職員の集会等で、県民歌や大仙市民の歌を歌う際、伴奏を依頼されるのが佐藤美紀先生です。ピアノや歌唱指導に定評のある先生が、今回は、敢えて野心的授業に挑戦です。

映画「ターミネーター」のラスト近くの機械むき出しのターミネーターが主人公たちを追い詰める場面が教材です。その音楽を「スターウオーズ」のメインテーマにしたなら、**ターミネーターの性格が変わって見たのはなぜか**という課題について、生徒は音楽の要素に触れながら様々な意見を比較・検討していました。

こういう切り口もあるのかと参観者が感心する授業でした。この後、卒業式に向けての歌練習等で、またご難儀をおかけいたします。



## 読書の力

あるコラムによると、「東京大学の学生に小学校時代のことを聞くと共通点が多い。午前0時より遅くまで受験勉強していた人はまれ。

読書の量と質は明らかに豊富で、読み聞かせをたっぷりしてもらっている」とのこと。

本校でも毎月1回、朝の読み聞かせを行っています。(写真は、今月3年生を担当して下さった図書ボランティアの伊藤修子さん) これからもこうした機会を大切にしていきます。



## 言葉に力がなかったかな!?

冬休み明け集会で、「南中生に3つのことを期待します。まずは『自立』です。大人になるためには、他の人(特に家族)に頼っていた部分を少しずつ減らし、自分のことは自分でできるようにしなければなりません。これは『たくましさ』にもつながっていきます…。(後略)」というような話をしました。合わせて、朝に車で送ってもらったとしても、体調不良等の特別な事情がない時は、「ここでいいから」と家に人に言って降車し、200mでも300mでもいいので自分で歩くようにしてほしいとも伝えました。

そして迎えた次の日の好天の朝、校門前駐車場下車の生徒は①(A:かわらない B:減った)。でも、その次の日の朝からは②(A:かわらない B:減った)。

【\*正解は、①A ②B】

- 部の大会や交流会を見ても、たくましさや自分から！という姿勢が南中の課題です。それにアスリートは春を見据えてほしいと思います。
- 歩くようになって、夜更かしが減ったという生徒からの報告がありました。よりよい生活習慣の定着につながるかもしれません。
- 他校でも、同様の呼びかけをしています。(西中は「朝、5分は歩こう」と呼びかけているとか…。)

子どものうちに良い習慣を徹底的に身に付けるようにすると、それはその子の生涯に役立つ生きる力になります。厳しいことを述べましたが、どうぞご理解願います。

Gotou

## 未来への姿勢

として大切なことは、世界で何が起きているか?どうしてこうなっているのか?を知ることです。そこで、冬休みも“Think Globally”的宿題を全学年に課しました。天気や三面記事で留まっている子もまだいるのですが、意識の高い記述も増えてきました。1年生は初日で提出率100%! (下記はその一部)

26	火	愛知県の人口が、死が出生を上回る「自然減」となった。都会でも少子化が進み始めたと思う。
12	金	ロヒンギャの支援で、日本政府が3億円程を出すと発表。どのような解決が図られるか調べてみたい。
13	土	2040年一人暮らし4割。過疎化していくと県が合併する恐れがあるので、一人暮らしは減らしたい。
14	日	デンマークのペットボトルの水が500円。「大きな政府」と「小さな政府」を考えさせられた。